

# 琉球大学学術リポジトリ

## 平成18年度法文学部新入生アンケート調査結果報告

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-08-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 牛窪, 潔, 平良, 柁史, 兼本, 円, 大城, 郁寛 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/42153">http://hdl.handle.net/20.500.12000/42153</a>

# 平成18年度法文学部新入生アンケート調査結果報告

法文学部 (総合社会システム学科教授)	牛窪 潔
(国際言語文化学科教授)	平良 柁史
(国際言語文化学科教授)	兼本 円
(総合社会システム学科教授)	大城 郁寛

## 調査結果

本アンケート調査の1つ目の目的は、「より良い教育の提供と、大学環境を整えるための情報として、新入生とその保護者のニーズや意見を明らかにすること」である。

「①大学進学目的と理由」及び「②琉球大学への入学動機」の解析結果から判断しても、就職、進路、自己啓発という視点に重要性をおいており、将来を見据えて、自身のキャリア形成に取り組んでいきたいという前向きな姿勢が伺える。また、「⑩大学への期待と要望」の回答からは、講義やカリキュラムの充実を求める割合と、学生の就職対策や進学・留学指導の充実を求める割合が双方とも高いが、この傾向は、より相応しい進路の選択や自己啓発のために、大学の教育サービスのさらなる充実を求めるという、目的と手段の関係が読み取れる。また「⑫卒業後の希望進路」については、公務員志向の傾向は依然として強いものの、民間企業志向、留学志向、進学志向、資格取得志向と、その方向性は分散・多様化してきている。このような傾向から鑑みても、学生一人ひとりのニーズに適うきめ細かい教育サービスの提供が、今後望まれていくのではないかと判断する。総括としては、新入生の自主的かつ建設的なニーズに可能なかぎり応えるべく、新しい教育サービスの在り方と、その改善・改良が求められているのではないかと考える。

本アンケートの2つ目の目的は、「夜間主コースの存続の必要性を確認するため、新入生(夜間主)とその保護者のニーズや経済的な実情を把握すること」である。

「④夜間主コースを選んだ理由」及び「⑩授業料半額の重要性について」の回答結果によれば、学費が安いから夜間主コースを選んだ割合が5割

以上、学費が半額であることの重要性を示している割合は8割以上を占めており、学費の安さと夜間主進学の動機との間には、正の相関性がありうると考えられる。ただし「②琉球大学への入学動機」の中で「学費のことを考えて琉大に進学した」と答えた割合は、昼間主も夜間主も1/3程度で、その差は見受けられない。学費半額の魅力は、他の入学動機に比べると、相対的に低い傾向にあるとも判断できる。「③学費の負担者について」は、「全額を学生自身が負担している割合」および「半額を学生自身が負担している割合」は、昼間主に比べて夜間主の方が高い比率を示している。このことは少しでも家計の負担を軽くするために就労している学生が、夜間主の学生に多いことを示している。ただし全額保護者が負担している割合は、双方とも7割程度であり有意差はみられない。

特筆すべきは「④世帯の年収について」である。全体的な傾向としては、300万円未満が最も多く、全体の2割5分以上を占めている。また、累積割合で500万円未満の年収が53.4%、全体の過半数を占めており、厳しい経済状況が伺える。夜間主については、この傾向は特に顕著であり、500万円未満の年収が全体の63.6%を占めており、昼間主の51.9%を大きく上回っている。この傾向から判断しても、夜間主コースの授業料が昼間主に比べて半額であることに対するニーズの高さを裏付ける比率差であろう。

なお、「学費の負担者」と「世帯年収」、「世帯年収」と「授業料半額の重要性」、「学費の負担者」と「授業料半額の重要性」、それぞれのクロス集計による差の検定を行った。世帯収入が300万円以下の家計には、授業料半額の重要性との相関性が見受けられるが、統計解析結果としての有意差

はみられなかった。さらに「⑤就学人数」については、夜間主と昼間主との間での差は見受けられない。しかしながら世帯収入の低さから判断すると、夜間主の家計負担の方が昼間主に比べて負担が重いことが伺える。

今回のアンケート調査結果の総合評価を最後に整理してみることにする。

授業料が半額であることは、家計が厳しい学生にとっては非常に魅力のあることであり、苦学生に対する貢献度は高いと判断できる。また夜間主コースそのものの存在については、苦学生と同様に、社会人に対して教育の機会を提供していることは、社会人の自由回答結果から判断しても、その存在意義は高いと判断できよう。

ただし、琉球大学への進学動機のなかで、「学費のことを考えて琉大に進学した」と答えた割合が、昼間主も夜間主も1/3の程度であり、差が見受けられないという結果が出ている。夜間主コースの学生が、「学費のことを考えて」を選んだ人数は18名であり、総回答数108名から換算すると、その割合は16.7%にすぎない。回答数が多かったその他の動機は、「国立大学法人だから」「大学の学風にひかれて」「専攻の内容が良いから」「センター試験に見合う結果だから」、であり、昼間主との間に有意差はみられない。

世帯の年収データから判断しても、非常に厳しい経済状況におかれている学生以外は、夜間主そのものに対するニーズというよりも、琉球大学に対するニーズを、昼間主も夜間主も抱いていると推察できる。

今回のアンケート調査では、昼間主コースのサンプル数に比べて、夜間主コースのサンプル数が少なく、クロス集計に必要なサンプル数に達していなかったことが残念である。また「入学後の就労について」と「就労形態について」の質問の真意が回答者に理解されず、適切な回答が得られなかったことをアンケート作成者として反省している。

いずれにしても、本アンケート結果を踏まえて、実際の夜間主コースの学生に対して、追跡聞き取

り調査を行い、その真意を把握することが肝要であると考えられる。

#### ①「調査目的」

本アンケートの調査目的は2つある。一つは、法文学部に入学した新入生のニーズや意見を明らかにし、より良い教育の提供と、大学環境を整える示唆としてアンケート結果を活用する。二つ目は、夜間主コースの存続の必要性を確認するため、夜間主コースを選んだ理由及び存在の必要性、就労状況や年収等、経済的な実情を把握し、夜間主コースの存続の是非を判断する参考データとするためである。

#### ②「調査方法」

調査方法は、別紙アンケート用紙を平成18年度法文学部入学生並びにその保護者に送付し、回答済みのアンケート用紙を保護者との懇談会及び専攻別オリエンテーションの際に回収した。また、新入生が履修登録確認表に押印をもらう際に1年次指導教員が回収した。

#### ③「調査対象」「調査規模」

調査対象は、平成18年度法文学部新入生及びその保護者全員である。回収された標本数は、法文学部全体で339人、その内、夜間主コースは48名、昼間主コースは291名であった。

#### ④「調査期間」「解析期間」

調査期間は、アンケートの配布及び回収に要した期間は、3月上旬から4月中旬、解析期間は5月1日～5月30日まで。

#### ⑤「調査メンバー」

調査メンバーは、法文学部の夜間主コースをもつ専攻課程の教員4名である。国際言語文化学科の平良柁史教授、兼本 円教授、総合社会システム学科の大城郁寛教授、牛窪の4名である。

なお、本報告書の基本的構成は、12の質問に対して、①回答者全員の集計結果、および②昼間主コースと夜間主コースとの比較による集計結果を提示しコメントを記すことにする。

【問1 大学に進学した目的あるいは理由は、次のどれに該当しますか。(3つまで選択可)】

全体的な傾向として、特に高い割合を示している項目は、「将来に備えるため：79.1%」、「教養や視野を広げるため：81.4%」、で全体の8割程度を占めており、将来を見据えたキャリア形成という目的意識のもとに、大学へ進学している傾向が伺える。

全 体n=339 大学進学目的と理由

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学進 就職に有利だから	115	14.4%	33.9%
学の目 将来に備えるため	268	33.7%	79.1%
的 と 教養や視野を広げるため	276	34.7%	81.4%
理 由 誰もが大学に行くから	31	3.9%	9.1%
すぐに社会に出たくないから	23	2.9%	6.8%
親が進学を勧めたから	21	2.6%	6.2%
先生・友人に勧められたから	3	.4%	.9%
学生生活を楽しまたいから	51	6.4%	15.0%
その他	8	1.0%	2.4%
合 計	796	100.0%	234.8%

夜間主の特徴としては、「①教養や視野を広げるため：79.2%」、「②将来に備えるため：64.6%」、「③就職に有利だから：43.8%」と答えた割合が高い。昼間主の特徴は、「①教養や視野を広げるため：81.8%」、「②将来に備えるため：81.4%」、「③就職に有利だから：32.3%」と答えた割合が高い。

相対的な比較においては、夜間主は昼間主に比べて「就職に有利だから」という理由が高く、昼間主は夜間主に比べて「教養や視野を広げるため」「将来に備えるため」という理由が高い。夜間主の方が昼間主よりも就職という現実的な理由を示している傾向が伺える。

夜 間n=48 大学進学目的と理由

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学進 就職に有利だから	21	19.8%	43.8%
学の目 将来に備えるため	31	29.2%	64.6%
的 と 教養や視野を広げるため	38	35.8%	79.2%
理 由 誰もが大学に行くから	4	3.8%	8.3%
すぐに社会に出たくないから	1	.9%	2.1%
親が進学を勧めたから	5	4.7%	10.4%
学生生活を楽しまたいから	6	5.7%	12.5%
合 計	106	100.0%	220.8%

昼 間n=291 大学進学目的と理由

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学進 就職に有利だから	94	13.6%	32.3%
学の目 将来に備えるため	237	34.3%	81.4%
的 と 教養や視野を広げるため	238	34.5%	81.8%
理 由 誰もが大学に行くから	27	3.9%	9.3%
すぐに社会に出たくないから	22	3.2%	7.6%
親が進学を勧めたから	16	2.3%	5.5%
先生・友人に勧められたから	3	.4%	1.0%
学生生活を楽しまたいから	45	6.5%	15.5%
その他	8	1.2%	2.7%
合 計	690	100.0%	237.1%

【問2 琉球大学を選び入学した理由は何ですか。(3つまで選択可)】

全体的な傾向として、特に高い割合を示している項目は、「専攻分野の内容が良いから：44.5%」「国立大学法人だから：43.4%」「学費のことを考えて：36.9%」「本学の学風にひかれて：32.4%」が上位を占めている。

「学費のことを考えて」に関する夜間主と昼間主との比較については、夜間主が37.5%、昼間主が36.8%とであり、予想に反して双方の差は見受けられない。

差が見られる項目は、「専攻分野の内容が良い

から：夜は37.5%、昼は45.7%」、**「センター試験の結果に見合う大学だから：夜は27.1%、昼は17.5%」**となっている。

全体n=339 琉球大学への入学動機

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
琉球 本学の学風にひかれて	110	14.0%	32.4%
大学 専攻分野の内容が良いから	151	19.3%	44.5%
への センター試験の結果に見合う大学だから	64	8.2%	18.9%
入学 他大学の滑り止め	24	3.1%	7.1%
動機 家族が勧めたから	32	4.1%	9.4%
学費のことを考えて	125	16.0%	36.9%
家の近くだから	65	8.3%	19.2%
国立大学法人だから	147	18.8%	43.4%
将来の職業を考えて	47	6.0%	13.9%
その他	18	2.3%	5.3%
合計	783	100.0%	231.0%

夜間n=48 琉球大学への入学動機

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
琉球 本学の学風にひかれて	14	13.0%	29.2%
大学 専攻分野の内容が良いから	18	16.7%	37.5%
への センター試験の結果に見合う大学だから	13	12.0%	27.1%
入学 他大学の滑り止め	2	1.9%	4.2%
動機 家族が勧めたから	7	6.5%	14.6%
学費のことを考えて	18	16.7%	37.5%
家の近くだから	6	5.6%	12.5%
国立大学法人だから	21	19.4%	43.8%
将来の職業を考えて	6	5.6%	12.5%
その他	3	2.8%	6.3%
合計	108	100.0%	225.0%

昼間n=291 琉球大学への入学動機

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
琉球 本学の学風にひかれて	96	14.2%	33.0%
大学 専攻分野の内容が良いから	133	19.7%	45.7%
への センター試験の結果に見合う大学だから	51	7.6%	17.5%
入学 他大学の滑り止め	22	3.3%	7.6%
動機 家族が勧めたから	25	3.7%	8.6%
学費のことを考えて	107	15.9%	36.8%
家の近くだから	59	8.7%	20.3%
国立大学法人だから	126	18.7%	43.3%
将来の職業を考えて	41	6.1%	14.1%
その他	15	2.2%	5.2%
合計	675	100.0%	232.0%

【問3 昼間主コースの方にお尋ねします。昼間主コースを選んだ理由は何ですか。(2つまで選択可)】

昼間主が高い割合を示しているのは「①夜の時間を自由に使いたいから：43.2%」「②特になし：34.2%」「③夜に就労したいから：27.0%」となっている。

昼間n=291 昼間主コースを選んだ理由

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
昼間 主を 選択した理由	33	9.0%	11.6%
クラブ活動に力を入れたから	5	1.4%	1.8%
友達を昼間主に行くから	123	33.7%	43.2%
夜の時間を自由に使いたいから	77	21.1%	27.0%
夜に就労したいから	12	3.3%	4.2%
先生等から昼間主を勧められたから	99	27.1%	34.7%
特になし	16	4.4%	5.6%
その他	365	100.0%	128.1%
合計			

【問4 夜間主コースの方にお尋ねします。夜間主コースを選んだ理由は何ですか。(2つまで選択可)】

夜間主が高い割合を示しているのは「①学費が安いから：52.1%」であるが、半分を少し上回った程度の割合である。続いて「②昼間に就労したいから：25.0%」となっている。

夜間主と昼間主との比較については、就労働機「昼間主：27.0%、夜間主：25.0%」についての差は見られない。その他、夜間主コースの自由回答の内容であるが、「社会人やパートで昼間は働いているから」と答えた人が5名、「センター試験の成績に見合っているから」と答えた人が2名いた。

夜間n=48 夜間主コースを選んだ理由

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
夜間主を選択した理由			
学費が安いから	25	38.5%	52.1%
昼間の時間を自由に使用したいから	8	12.3%	16.7%
昼間に就労したいから	12	18.5%	25.0%
先生等が夜間主を勧めたから	7	10.8%	14.6%
特になし	6	9.2%	12.5%
その他	7	10.8%	14.6%
合計	65	100.0%	135.4%

【問5 大学へ進学した後、あなたは就労(専業主婦を含む)する予定がありますか。或いは既に就労していますか。(○を1つ)】

【問6 あなたはどのような形態で就労する予定ですか。或いは就労していますか。(○を1つ)】

上記2つの質問の真意は、入学後、在学中に就労するか否かの質問であるが、下記データが示すとおり、そのような理解と判断に基づく回答結果ではないと判断する。よってこの2問に関する分析は割愛する。

全体n=339 入学後の就労について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 就労する	272	80.2	82.9	82.9
就労しない	56	16.5	17.1	100.0
合計	328	96.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	11	3.2		
合計	339	100.0		

全体n=339 就労形態について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 正社員	171	50.4	64.5	64.5
派遣又はパート	94	27.7	35.5	100.0
合計	265	78.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	74	21.8		
合計	339	100.0		

【問7 どなたが、あなたの学費を負担しますか。(○を1つ)】

全体的な傾向として、「全額を保護者が負担するが、71.1%」「半額以上を保護者が負担するが、16.1%」「全額を自分が負担するが、6.7%」「半額以上を自分が負担するが、6.1%」であった。7割以上が、保護者による全額負担となっている。

全体n=339 学費の負担者について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 全額を自分が負担	22	6.5	6.7	6.7
全額を保護者が負担	234	69.0	71.1	77.8
半額以上を自分が負担	20	5.9	6.1	83.9
半額以上を保護者が負担	53	15.6	16.1	100.0
合計	329	97.1	100.0	
システム欠損値	10	2.9		
合計	339	100.0		

夜間主と昼間主との比較については、「全額を自分が負担する」は夜間主が14.6%、昼間主が5.3%と、夜間主の方が高い割合を示している。「全額を保護者が負担する」割合は僅差ではあるが、夜間主より昼間主の方が高い割合を示している。

夜間n=48 学費の負担者について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 全額を自分が負担	7	14.6	14.6	14.6
全額を保護者が負担	33	68.8	68.8	83.3
半額以上を自分が負担	2	4.2	4.2	87.5
半額以上を保護者が負担	6	12.5	12.5	100.0
合計	48	100.0	100.0	

昼間n=291 学費の負担者について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 全額を自分が負担	15	5.2	5.3	5.3
全額を保護者が負担	201	69.1	71.5	76.9
半額以上を自分が負担	18	6.2	6.4	83.3
半額以上を保護者が負担	47	16.2	16.7	100.0
合計	281	96.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	10	3.4		
合計	291	100.0		

【問8 世帯の年収(税込み、ボーナスを含む)はいくらぐらいですか。(○を1つ)】

世帯年収の全体的な傾向としては、300万円未満が最も多く26.1%、全体の2割5分以上を占めている。また、累積割合で500万円未満の年収が53.4%、全体の過半数を占めており、厳しい経済状況が伺える。

夜間主については、この傾向は特に顕著であり、500万円未満の年収が全体の63.6%を占めており、昼間主の51.9%を大きく上回っている。この傾向

から判断しても、夜間主コースの授業料が昼間主に比べて半額であることに対するニーズの高さを裏付ける比率差であろう。

全体n=339 世帯の年収について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 300万円未満	70	20.6	26.1	26.1
300~400万円未満	45	13.3	16.8	42.9
400~500万円未満	28	8.3	10.4	53.4
500~600万円未満	27	8.0	10.1	63.4
600~700万円未満	21	6.2	7.8	71.3
700~800万円未満	23	6.8	8.6	79.9
800~1000万円未満	24	7.1	9.0	88.8
1000~2000万円未満	27	8.0	10.1	98.9
2000万円以上	3	.9	1.1	100.0
合計	268	79.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	71	20.9		
合計	339	100.0		

夜間n=48 世帯の年収について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 300万円未満	9	18.8	27.3	27.3
300~400万円未満	10	20.8	30.3	57.6
400~500万円未満	2	4.2	6.1	63.6
500~600万円未満	2	4.2	6.1	69.7
600~700万円未満	3	6.3	9.1	78.8
700~800万円未満	3	6.3	9.1	87.9
800~1000万円未満	1	2.1	3.0	90.9
1000~2000万円未満	3	6.3	9.1	100.0
合計	33	68.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	15	31.3		
合計	48	100.0		

昼間n=291 世帯の年収について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 300万円未満	61	21.0	26.0	26.0
300~400万円未満	35	12.0	14.9	40.9
400~500万円未満	26	8.9	11.1	51.9
500~600万円未満	25	8.6	10.6	62.6
600~700万円未満	18	6.2	7.7	70.2
700~800万円未満	20	6.9	8.5	78.7
800~1000万円未満	23	7.9	9.8	88.5
1000~2000万円未満	24	8.2	10.2	98.7
2000万円以上	3	1.0	1.3	100.0
合計	235	80.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	56	19.2		
合計	291	100.0		

【問9 ご家族の中で、就学している人は何人でしょうか。(人数をお答え下さい)】

家庭内で就学している人数については、最も多いのが2人で36.7%、次いで3人の25.3%、三番目は1人の23.5%となっている。2人～3人で全体の62%を占めており、家計負担の重さが伺える。

夜間主と昼間主との間で、就学人数に関する差は見受けられない。しかしながら世帯収入の低さから判断すると、夜間主の家計負担の方が昼間主に比べて重いことが伺える。

全 体n=339 就学している人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 0	19	5.6	5.9	5.9
1	76	22.4	23.5	29.3
2	119	35.1	36.7	66.0
3	82	24.2	25.3	91.4
4	23	6.8	7.1	98.5
5	4	1.2	1.2	99.7
6	1	.3	.3	100.0
合計	324	95.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	15	4.4		
合計	339	100.0		

夜 間n=48 就学している人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 0	2	4.2	4.5	4.5
1	10	20.8	22.7	27.3
2	16	33.3	36.4	63.6
3	10	20.8	22.7	86.4
4	4	8.3	9.1	95.5
5	1	2.1	2.3	97.7
6	1	2.1	2.3	100.0
合計	44	91.7	100.0	
欠損値 システム欠損値	4	8.3		
合計	48	100.0		

昼 間n=291 就学している人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 0	17	5.8	6.1	6.1
1	66	22.7	23.6	29.6
2	103	35.4	36.8	66.4
3	72	24.7	25.7	92.1
4	19	6.5	6.8	98.9
5	3	1.0	1.1	100.0
6	280	96.2	100.0	
合計	11	3.8		
欠損値 システム欠損値	291	100.0		
合計				

【問10 夜間主コースの方にお尋ねします。授業料が昼間主コースに比べて半額であることは、あなたにとって、どの程度、重要ですか。(〇を1つ)】

- (5、重要 4、やや重要 3、どちらともいえない 2、あまり重要でない 1、重要でない)

夜間主コースに対する授業料が半額であることの重要性については、重要と答えた割合が57.4%、やや重要と答えた割合が25.5%、どちらともいえないと答えた割合が17.0%となっている。重要とやや重要を合わせると全体の82.9%となり、多くの学生・保護者が授業料半額の重要性と必要性を示していることが伺える。

夜 間n=48 授業料半額の重要性

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 どちらともいえない	8	2.4	17.0	17.0
やや重要	12	3.5	25.5	42.6
重要	27	8.0	57.4	100.0
合計	47	13.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	292	86.1		
合計	339	100.0		

【問11 大学に対してどのような期待又は要望がありますか。(3つまで選択可)】

大学への期待と要望については、全体的な傾向として、特に高い割合を示している項目は、「講義の充実：66.8%」「カリキュラムの充実：50.5%」「学生の就職対策の充実：44.1%」「教授陣の充実：35.0%」の4項目であり、この順番は昼間主コースも同様である。

夜間主コースについては、「カリキュラムの充実：64.4%」「講義の充実：53.3%」「学生の就職対策の充実：42.2%」「教授陣の充実：26.7%」という順序であり、若干の相違が見受けられる。また、進学・留学に関する希望は、昼間主の方が多い傾向を示している。



全体n=339

大学への期待と要望

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学カリキュラムの充実	167	19.2%	50.5%
への教授陣の充実	116	13.3%	35.0%
期待講義の充実	221	25.4%	66.8%
と要教室・実習室の充実	23	2.6%	6.9%
望図書館の充実	37	4.3%	11.2%
体育施設の充実	15	1.7%	4.5%
福利厚生施設の充実	7	.8%	2.1%
サークル活動の充実	40	4.6%	12.1%
学生の就職対策の充実	146	16.8%	44.1%
進学・留学指導の充実	85	9.8%	25.7%
特になし	11	1.3%	3.3%
その他	2	.2%	.6%
合計	870	100.0%	262.8%

【問12 卒業後、どのような進路を考えていますか。(○を1つ)】

最後に卒業後の進路については、全体的な傾向として、特に高い割合を示している項目は、「公務員：36.6%」「民間企業：23.7%」「進学：16.2%」「教員：10.2%」の4項目であり、この順番は昼間主も同様である。

夜間主コースについては、「公務員」を希望する割合が高く全体の45.8%を占めている。続いて「民間企業：25.0%」「教員：16.7%」となっている。ここでも進学・留学に関する希望は、昼間主の方が高い傾向を示している。

夜間n=48

大学への期待と要望

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学カリキュラムの充実	29	26.1%	64.4%
への教授陣の充実	12	10.8%	26.7%
期待講義の充実	24	21.6%	53.3%
と要教室・実習室の充実	4	3.6%	8.9%
望図書館の充実	8	7.2%	17.8%
体育施設の充実	3	2.7%	6.7%
サークル活動の充実	5	4.5%	11.1%
学生の就職対策の充実	19	17.1%	42.2%
進学・留学指導の充実	5	4.5%	11.1%
特になし	2	1.8%	4.4%
合計	111	100.0%	246.7%

全体n=339

卒業後の希望進路

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 公務員	122	36.0	36.6	36.6
教員	34	10.0	10.2	46.8
進学	54	15.9	16.2	63.1
民間企業	79	23.3	23.7	86.8
資格試験	22	6.5	6.6	93.4
その他	22	6.5	6.6	100.0
合計	333	98.2	100.0	
欠損値 システム	6	1.8		
欠損値				
合計	339	100.0		

昼間n=291

大学への期待と要望

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセン	
大学カリキュラムの充実	138	18.2%	48.3%
への教授陣の充実	104	13.7%	36.4%
期待講義の充実	197	26.0%	68.9%
と要教室・実習室の充実	19	2.5%	6.6%
望図書館の充実	29	3.8%	10.1%
体育施設の充実	12	1.6%	4.2%
福利厚生施設の充実	7	.9%	2.4%
サークル活動の充実	35	4.6%	12.2%
学生の就職対策の充実	127	16.7%	44.4%
進学・留学指導の充実	80	10.5%	28.0%
特になし	9	1.2%	3.1%
その他	2	.3%	.7%
合計	759	100.0%	265.4%

夜間n=48

卒業後の希望進路

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 公務員	22	45.8	45.8	45.8
教員	8	16.7	16.7	62.5
進学	1	2.1	2.1	64.6
民間企業	12	25.0	25.0	89.6
資格試験	1	2.1	2.1	91.7
その他	4	8.3	8.3	100.0
合計	48	100.0	100.0	

昼間n=291

卒業後の希望進路

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 公務員	100	34.4	35.1	35.1
教員	26	8.9	9.1	44.2
進学	53	18.2	18.6	62.8
民間企業	67	23.0	23.5	86.3
資格試験	21	7.2	7.4	93.7
その他	18	6.2	6.3	100.0
合計	285	97.9	100.0	
欠損値 システム	6	2.1		
欠損値				
合計	291	100.0		

平成18年度法文学部新入学生に対するアンケート  
※各質問に対して当てはまる数字に○を付けて下さい。○の数は各質問の右端括弧欄に記載されている内容に準じて下さい。なお、問9は数字をご記入下さい。よろしくお願い致します。

問1 大学に進学した目的あるいは理由は、次のどれに該当しますか。(3つまで選択可)

1. 就職の際に有利だから
2. 将来に備えて専門的知識・技能を習得するため
3. 自分の教養や視野を広げるため
4. 現代は誰もが大学に行く時代だから
5. すぐ就職して社会に出るのがいやだったから
6. 親が大学進学を強く要望したから
7. 先生や友人に勧められたから
8. クラブ活動やレジャー等、学生生活をエンジョイするため
9. その他 ( )

問2 琉球大学を選び入学した理由は何ですか。(3つまで選択可)

1. 本学の特色、学風にひかれて
2. 自分の専攻分野の学部、学科の内容が良いので
3. 大学センター試験の結果、自分の学力に見合う大学だったので
4. 他大学のすべり止めとして
5. 家族、親戚が勧めたので
6. 学費の事を考えて
7. 家の近くだから
8. 国立大学法人だから
9. 将来の職業を考えて
10. その他 ( )

問3 昼間主コースの方にお尋ねします。昼間主コースを選んだ理由は何ですか。(2つまで選択可)

1. クラブ活動に力を入れることができるから
2. 友達が昼間主コースに行くから

3. 夜の時間を自分のために使いたいから
4. 夜に就労(アルバイトを含む)したいと思ったから
5. 先生や先輩から昼間主コースを勧められたから
6. 特になし
7. その他 ( )

問4 夜間主コースの方にお尋ねします。夜間主コースを選んだ理由は何ですか。(2つまで選択可)

1. 昼間主コースに比べて学費が安いから
2. 友達が夜間主コースに行くから
3. 昼間の時間を自分のために使いたいから
4. 昼間に就労(アルバイトを含む)したいと思ったから
5. 先生や先輩から夜間主コースを勧められたから
6. 特になし
7. その他 ( )

問5 大学へ進学した後、あなたは就労(専業主婦を含む)する予定がありますか。或いは既に就労していますか。(○を1つ)

1. 就労する
2. 就労しない(問7へ進む)
3. 定年退職した(問7へ進む)

問6 あなたはどのような形態で就労する予定ですか。或いは就労していますか。(○を1つ)

1. 正社員
2. 派遣社員、パート又はアルバイト
3. 専業主婦

問7 どなたが、あなたの学費を負担しますか。(○を1つ)

1. 全額を自分で負担する
2. 全額を保護者が負担する
3. 自分が半分以上を負担する
4. 保護者が半分以上を負担する

問8 世帯の年収(税込み、ボーナスを含む)はいくらぐらいですか。(○を1つ)

1. 300万円未満
2. 300～400万円未満
3. 400～500万円未満
4. 500～600万円未満
5. 600～700万円未満
6. 700～800万円未満
7. 800～1000万円未満
8. 1000～2000万円未満
9. 2000万円以上

問12 卒業後、どのような進路を考えていますか。(○を1つ)

1. 公務員
2. 教員
3. 進学
4. 民間企業
5. 資格試験
6. その他：(出来れば具体的に：)

ご協力ありがとうございました

問9 ご家族の中で、就学している人は何人でしょうか。(人数をお答え下さい)

( ) 人

問10 夜間主コースの方にお尋ねします。授業料が昼間主コースに比べて半額であることは、あなたにとって、どの程度、重要ですか。(○を1つ)

5. 重要
4. やや重要
3. どちらともいえない
2. あまり重要でない
1. 重要でない

問11 大学に対してどのような期待又は要望がありますか。(3つまで選択可)

1. カリキュラムの充実
2. 教授陣の充実
3. 講義の充実
4. 教室・実習室の充実
5. 図書館の充実
6. 体育施設の充実
7. 福利厚生施設の充実
8. サークル活動の充実
9. 学生の就職対策の充実
10. 進学・留学指導の充実
11. 特になし
12. その他 ( )

## 第2回法文学部FDシンポジウム

### 【テーマ】

「新生のニーズと法文学部のより良い教育のあり方」

### 【副題】

夜間主コースの必要性を中心として

### 【日時】

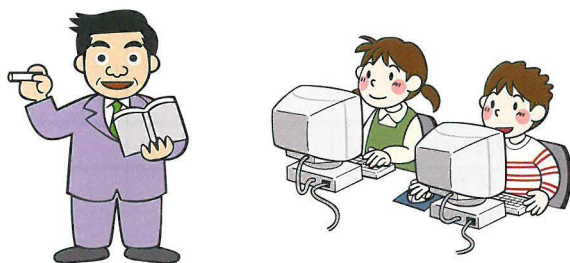
平成18年8月11日金曜日、午後1時より

### 【場所】

法文学部新棟-114教室

### 【報告者】

経営学専攻課程 主任 牛窪 潔



### 平成18年度法文学部 新生アンケート調査概要

#### ①「調査目的」

本アンケートの調査目的は2つある。

一つは、法文学部に入学した新生のニーズや意見を明らかにし、より良い教育の提供と、大学環境を整える示唆としてアンケート結果を活用する。

二つ目は、夜間主コースの存続の必要性を確認するため、夜間主コースを選んだ理由及び存在の必要性、就労状況や年収等、経済的な実情を把握

し、夜間主コースの存続の是非を判断する参考データとするためである。

#### ②「調査・回収方法」

調査方法は、別紙アンケート用紙を平成18年度法文学部入学生並びにその保護者に送付し、回答済みのアンケート用紙を保護者との懇談会及び専攻別オリエンテーションの際に回収した。また、新生が履修登録確認表に押印をもらう際に1年次指導教員が回収した。

#### ③「調査対象」「調査規模」

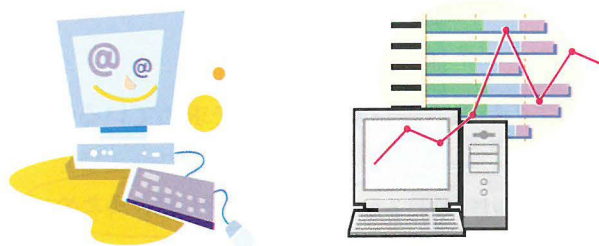
調査対象は、平成18年度法文学部新生及びその保護者全員である。回収された標本数は、**法文学部全体で339人**、その内、**夜間主コースは48名**、**昼間主コースは291名**であった。

#### ④「調査期間」「解析期間」

調査期間は、アンケートの配布及び回収に要した期間は、3月上旬から4月中旬、解析期間は5月1日～5月30日まで。

#### ⑤「調査メンバー」

調査メンバーは、法文学部の夜間主コースをもつ専攻課程の教員4名である。国際言語文化学科の**平良 征史教授**、**兼本 円教授**、総合社会システム学科の**大城 郁寛教授**、**牛窪 潔教授**の4名である。



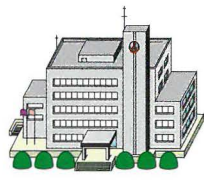
新入生のニーズと法文学部のより良い教育のあり方

夜間n=48 大学進学目的と理由

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
大学進学目的と理由	就職に有利だから	21	19.8%	★43.8%
	将来に備えるため	31	29.2%	64.6%
	教養や視野を広げるため	38	35.8%	79.2%
	誰もが大学に行くから	4	3.8%	8.3%
	すぐに社会に出たくないから	1	.9%	2.1%
	親が進学を勧めたから	5	4.7%	10.4%
	学生生活を楽しみたいから	6	5.7%	12.5%
合計		106	100.0%	220.8%

夜間n=48 卒業後の希望進路

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	公務員	22	45.8	★ 45.8	45.8
	教員	8	16.7	★ 16.7	62.5
	進学・留学	1	2.1	2.1	64.6
	民間企業	12	25.0	25.0	89.6
	資格試験	1	2.1	2.1	91.7
	その他	4	8.3	8.3	100.0
	合計	48	100.0	100.0	



「公務員：45.8%」

「教員：16.7%」

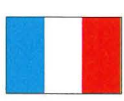
「民間企業：25.0%」

昼間n=291 大学進学目的と理由

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
大学進学目的と理由	就職に有利だから	94	13.6%	★32.3%
	将来に備えるため	237	34.3%	81.4%
	教養や視野を広げるため	238	34.5%	81.8%
	誰もが大学に行くから	27	3.9%	9.3%
	すぐに社会に出たくないから	22	3.2%	7.6%
	親が進学を勧めたから	16	2.3%	5.5%
	先生・友人に勧められたから	3	.4%	1.0%
	学生生活を楽しみたいから	45	6.5%	15.5%
	その他	8	1.2%	2.7%
合計		690	100.0%	237.1%

昼間n=291 卒業後の希望進路

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	公務員	100	34.4	35.1	35.1
	教員	26	8.9	9.1	44.2
	進学・留学	53	18.2	★ 18.6	62.8
	民間企業	67	23.0	23.5	86.3
	資格試験	21	7.2	7.4	93.7
	その他	18	6.2	6.3	100.0
	合計	285	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	2.1		
合計		291	100.0		



「進学・留学:18.6%」

「公務員:35.1%」

「民間企業:23.5%」

夜間主の特徴 就職という現実的な理由を示す傾向

「就職に有利だから」

昼間主の特徴 将来的可能性を求めている傾向

「教養や視野を広げるため」

「将来に備えるため」

夜間n=48 大学への期待と要望

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
大学への期待と要望	カリキュラムの充実	29	26.1%	64.4%
	教授陣の充実	12	10.8%	26.7%
	講義の充実	24	21.6%	53.3%
	教室・実習室の充実	4	3.6%	8.9%
	図書館の充実	8	7.2%	17.8%
	体育施設の充実	3	2.7%	6.7%
	サークル活動の充実	5	4.5%	11.1%
	学生の就職対策の充実	19	17.1%	★42.2%
	進学・留学指導の充実	5	4.5%	11.1%
	特になし	2	1.8%	4.4%
合計		111	100.0%	246.7%

昼間n=291 大学への期待と要望

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
大学への期待と要望	カリキュラムの充実	138	18.2%	48.3%
	教授陣の充実	104	13.7%	36.4%
	講義の充実	197	26.0%	68.9%
	教室・実習室の充実	19	2.5%	6.6%
	図書館の充実	29	3.8%	10.1%
	体育施設の充実	12	1.6%	4.2%
	福利厚生施設の充実	7	.9%	2.4%
	サークル活動の充実	35	4.6%	12.2%
	学生の就職対策の充実	127	16.7%	★44.4%
	進学・留学指導の充実	80	10.5%	28.0%
	特になし	9	1.2%	3.1%
	その他	2	.3%	.7%
	合計		759	100.0%



講義・カリキュラムの充実



個別指導による進路対策

夜間主コースの必要性について

n=48 夜間主コースを選んだ理由

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
夜間主を選択した理由	学費が安いから	25	38.5%	★52.1%
	昼間の時間を自由に使いたいから	8	12.3%	16.7%
	昼間に就労したいから	12	18.5%	★25.0%
	先生等が夜間主を勧めたから	7	10.8%	14.6%
	特になし	6	9.2%	12.5%
	その他	7	10.8%	14.6%
	合計		65	100.0%

(2つまで選択可)



学費が安いから：52.1%

夜間n=48 授業料半額の重要性

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	どちらとも	8	2.4	17.0	17.0
	いえない	12	3.5	25.5	42.6
	やや重要 重要	27	8.0	57.4	100.0
欠損値	合計	47	13.9	100.0	
	システム 欠損値	292	86.1		
	合計	339	100.0		



重要とやや重要を  
合わせると全体の82.9%

夜間n=48 琉球大学への入学動機

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
琉球大学への入学動機	本学の学風にひかれて	14	13.0%	29.2%
	専攻分野の内容が良いから	18	16.7%	37.5%
	センター試験の結果に見合う大学だから	13	12.0%	27.1%
	他大学の滑り止め	2	1.9%	4.2%
	家族が勧めたから	7	6.5%	14.6%
	学費のことを考えて	18	16.7%	★37.5%
	家の近くだから	6	5.6%	12.5%
	国立大学法人だから	21	19.4%	43.8%
	将来の職業を考えて	6	5.6%	12.5%
	その他	3	2.8%	6.3%
合計		108	100.0%	225.0%

昼間n=291 琉球大学への入学動機

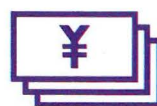
		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセン	
琉球大学への入学動機	本学の学風にひかれて	96	14.2%	33.0%
	専攻分野の内容が良いから	133	19.7%	45.7%
	センター試験の結果に見合う大学だから	51	7.6%	17.5%
	他大学の滑り止め	22	3.3%	7.6%
	家族が勧めたから	25	3.7%	8.6%
	学費のことを考えて	107	15.9%	★36.8%
	家の近くだから	59	8.7%	20.3%
	国立大学法人だから	126	18.7%	43.3%
	将来の職業を考えて	41	6.1%	14.1%
	その他	15	2.2%	5.2%
合計		675	100.0%	232.0%

夜間n=48 世帯の年収について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	300万円未満	9	18.8	27.3	27.3
	300~400万円未満	10	20.8	30.3	★57.6
	400~500万円未満	2	4.2	6.1	☆63.6
	500~600万円未満	2	4.2	6.1	69.7
	600~700万円未満	3	6.3	9.1	78.8
	700~800万円未満	3	6.3	9.1	87.9
	800~1000万円未満	1	2.1	3.0	90.9
	1000~2000万円未満	3	6.3	9.1	100.0
合計		33	68.8	100.0	
欠損値 システム欠損値		15	31.3		
合計		48	100.0		

昼間n=291 世帯の年収について

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	300万円未満	61	21.0	26.0	26.0
	300~400万円未満	35	12.0	14.9	★40.9
	400~500万円未満	26	8.9	11.1	☆51.9
	500~600万円未満	25	8.6	10.6	62.6
	600~700万円未満	18	6.2	7.7	70.2
	700~800万円未満	20	6.9	8.5	78.7
	800~1000万円未満	23	7.9	9.8	88.5
	1000~2000万円未満	24	8.2	10.2	98.7
	2000万円以上	3	1.0	1.3	100.0
	合計		235	80.8	100.0
欠損値 システム欠損値		56	19.2		
合計		291	100.0		



57.6% (夜間主)

400万円未満の収入

40.9% (昼間主)

学費のことを考えて



≒



36.8%

37.5%

夜間n=48 就学している人数について

就学人数		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	0人	2	4.2	4.5	4.5
	1人	10	20.8	22.7	27.3
	2人	16	33.3	36.4	63.6
	3人	10	20.8	22.7	86.4
	4人	4	8.3	9.1	95.5
	5人	1	2.1	2.3	97.7
	6人	1	2.1	2.3	100.0
合計		44	91.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	8.3		
合計		48	100.0		

夜間n=48 学費の負担者について

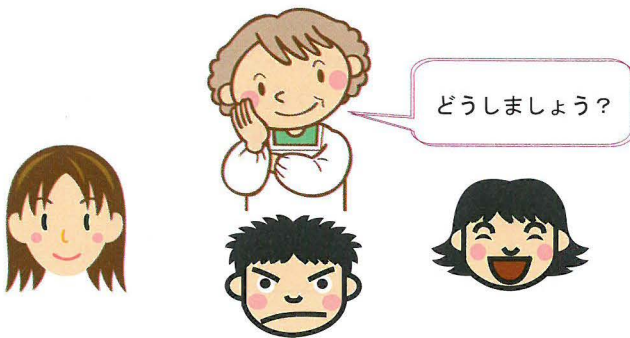
		度数	パーセント	有効パーセント	全額保護者負担率 半額保護者負担率
有効	全額を自分が負担	7	14.6	★ 14.6	} 81.3%
	全額を保護者が負担	33	68.8	★ 68.8	
	半額以上を自分が負担	2	4.2	4.2	
	半額以上を保護者が負担	6	12.5	★ 12.5	
合計		48	100.0	100.0	

昼間n=291 就学している人数

就学人数		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	0人	17	5.8	6.1	6.1
	1人	66	22.7	23.6	29.6
	2人	103	35.4	36.8	66.4
	3人	72	24.7	25.7	92.1
	4人	19	6.5	6.8	98.9
	5人	3	1.0	1.1	100.0
合計		280	96.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	3.8		
合計		291	100.0		

昼間n=291 学費の負担者について

		度数	パーセント	有効パーセント	全額保護者負担率 半額保護者負担率
有効	全額を自分が負担	15	5.2	★ 5.3	} 88.2%
	全額を保護者が負担	201	69.1	★ 71.5	
	半額以上を自分が負担	18	6.2	6.4	
	半額以上を保護者が負担	47	16.2	★ 16.7	
合計		281	96.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	10	3.4		
合計		291	100.0		



学校に通う2人以上の子ども持つ家庭

70パーセント以上

①保護者が学費を負担

80%以上



②学校に通う2人以上の子ども持つ家庭

70%以上

57.6%  
(夜間主)

③400万円未満の収入

40.9%  
(昼間主)



## 夜間主コースの必要性と今後の課題

- ① 志願倍率の高さから見ても、夜間主コースに対する社会のニーズは極めて高い。

平成17年度 前期：8.2倍、後期：10.3倍

平成18年度 前期：6.1倍、後期：21.0倍

- ② 18歳人口の減少及び社会人に対する教育の機会提供の観点から判断してもその存在意義は高い。
- ③ 高校卒業者（社会人）のみならず学士入学生に対して教育と研究の機会を提供する学舎であるべき。
- ④ 社会人学生の存在は、一般学生のみならず教員にとっても、学問的刺激となり、大学教育の活性化につながる。
- ⑤ 夜の時間帯のため、OB等による寄付講座等を開講し、実践的かつ応用的な授業の充実が図れる。
- ⑥ 夜間大学院設置の際、前提科目として夜間主の学部教育を受講することができる。
- ⑦ 専門学校等とのダブルスクールが可能になる。

## 「課題」

- ① 前述した夜間主コースの経済状況から鑑みても、授業料半額の制度については、踏襲すべきではないか。
- ② 昼間主との相互履修単位数の40単位は厳守できるようなルールと仕組みをつくる。
- ③ 教職科目については、相互履修40単位のルールから外すことが望ましい。
- ④ 教員の負担軽減に関する具体的な施策を考案・実施する。

